

平成28年度 難病患者コミュニケーション支援研修会 in 西部 開催要領

1. 目的

ALS等の重症神経難病により、意思の疎通が困難となる患者にとってコミュニケーション支援は不可欠であるが、現段階では、十分とは言えない状況にある。

療養者の様々なコミュニケーション支援ニーズに対応していくためには、支援者がそのニーズを的確に把握し、対応できる技術の向上を図るとともに、支援者が作業療法士等リハビリ専門職の支援を受けやすい体制を確立することが重要である。

このため、個々の支援者のスキルアップと支援者同士が連携できる全県的なネットワークの確立を目指し研修会を開催する。

2. 主催

公益財団法人ヘルスサイエンスセンター島根 しまね難病相談支援センター

3. 対象者

難病患者のコミュニケーション支援に関わっている県内の作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、訪問看護師、介護支援専門員、ヘルパー、保健師等

4. 定員

50名

5. 日時・場所

平成28年9月16日(金) 13:00~16:00

浜田合同庁舎(浜田保健所隣り) 2階 大会議室

住所: 浜田市片庭町254 電話: (0855) 29-5554

6. 内容

12:30~13:00 受付

13:00~13:05 開会あいさつ

13:05~14:45 1. コミュニケーション機器、スイッチ等の紹介と体験

伝の心、レッツチャット、ハーティラダー、視線入力装置、iPad、
文字盤など

講師: 島根大学医学部附属病院 作業療法士 森脇 繁登 氏

国立病院機構松江医療センター 作業療法士 加藤 伸一 氏

14:45~14:50 休憩

14:50~15:35 2. 事例紹介

① 「進行性難病患者さんとのコミュニケーション奮闘記~会話したい思いをつなぐ」

西部島根医療福祉センター 作業療法士 引地 晶久 氏

② 「初めが肝心」(仮題)

国立病院機構松江医療センター 作業療法士 加藤 伸一 氏

③ 「IT機器がすべてじゃない」

島根大学医学部附属病院 作業療法士 森脇 繁登 氏

15:35~16:00 3. 意見交換

16:00~16:05 閉会あいさつ